

今年度、標記の事業によって草地更新を行いましたので、施工内容の一例を紹介致します。

〔 草地生産性向上対策事業 〕 〔 リスク分散型草地改良 〕

◇リスク分散型草地改良の取組内容

耕盤層の破碎による圃場の排水性向上

→サブソイラ等を用いて土中の耕盤層を破碎することで圃場の物理性を改善し、排水性を向上させることで大雨による土壌の流失や滞水の被害を軽減する取組です。

◇使用資材

種子	チモシー（ホライズン）	• 1.8kg/10a
	アルファルファ（ケレス）	• 0.2kg/10a
	シロクロバ（アバパール）	• 0.2kg/10a
土改材	防散タンカル	• 44.8kg/10a
肥料	BB122	• 40.0kg/10a
	重焼燐特号	• 43.8kg/10a
除草剤	ラウンドアップマックスロード	• 500ml/10a



播種前の様子

◇工 程

①除草剤散布（7/3）



②芯土破碎（7/21）



③耕起（7/23）



④碎土（7/25）



⑤土改材散布（7/26）



⑥整地（7/28）



⑦鎮圧（8/1）



⑧施肥・播種（8/7）



⑨鎮圧（8/8）



⑩完了



芯土破碎作業の様子



播種後の様子

今年度は長雨の影響もあり、作業の遅れに伴う初期生育の遅れが懸念されております。
なお、標記事業に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

標茶町農業協同組合 営農部ふれあい相談室 農業振興課 加藤・島

TEL: 015-485-2125 / FAX: 015-485-3830